

The Danube Quarterly

WOLFFENBUTTEL AUSTRIAN



2018年夏季号／7・8月合併号

盛田常夫 「日本の私立大学における体育会権力」	1
鷺尾 亜子 「月間ニュースダイジェスト」	4
ペルツェ・アゴタ 「日本に残した心の半分」	7
ニコム・アレクサンドラ 「日本の食文化の多様性」	9
福田 和代 「ウィーン便り クリムト絵画「リンゴの木Ⅱ」	11
盛田 常夫 「サッカーW杯で考えたこと」	13
桑名 一恵 「イベント・コンサート情報」	15

ハンガリーを代表する赤ワインワイナリー
GEREワイナリーが日本人のワイン愛好家の皆様に、通販サイトを開設しました。

www.gere-club-japan.com

GERE

GERE ATTILA PINCÉSZETE



KOPAR 2012は皆様のご愛顧のお陰で、在庫切れとなり、販売を終了しました。今後は、**KOPAR 2015**をよろしくご愛顧ください。

最高級赤ワインのセットを、ご自宅に配送します。
日本へは国際宅急便(6本の配送費90ユーロ)で、
ハンガリー国内は200ユーロ以上の注文で送料が無料になります。



各種ワインセットの他に、低温圧搾ぶどう最高級オイル、
ぶどうの種と果皮をミクロンのサイズに粉碎した、
ポリフェノミクロンも、通販サイトを通して購入できます。



GERE-CLUB-JAPANの会員になれば、
各種の特典が得られます。GERE ホテルの予約も、
通販サイトを通せば、日本語で予約ができます。



www.gere-club-japan.com

日本の私立大学における体育会権力

盛田 常夫

大学における体育会

大手の私立大学はどこも体育推薦入学制度を保持しており、大学の知名度を上げる手段となっている。人気がある野球やサッカー、あるいはラグビー、それから箱根駅伝などメディアへの露出度が高いスポーツは、推薦枠も大きい。人気スポーツの1年間の推薦入学枠は1チームを形成できるレギュラー人数を超えるのがふつうで、レギュラーになれない多数の体育推薦入学者が洗濯や炊事、球拾いの雑務要員として合宿生活や日頃の練習を支えている。合宿所では最上級生が「天皇」あるいは「大将」、新入生が「一兵卒」と呼ばれる軍隊的で封建的な関係が支配している。部全体が監督－コーチ－選手間の上意下達システムから構成されているだけでなく、学生の合宿所そのものも、一つの閉じられた封建的関係で構成されている。

私立大学の運営は教育や研究事項に責任を持つ教授会や学部長会議と、大学経営に責任をもつ理事会（事務組織の統括）の二つの系列に分かれている。体育推薦枠の扱いは理事会マターであり、教授会や学部長会議などが関与できることはほとんどない。学部長会議は、理事会あるいは体育関係者が集まる会議で決定された各部の推薦枠を承認するという形式的な機能を受け持たされるだけで、教授会にいたってはその報告を受けるだけである。

一応、各体育会加盟部の部長には教員が名を連ねているが、たんなる名誉職で、OB会や祝賀会で挨拶する程度の役割しか負っていない。体育会各部の監督やOB会がすべてを取り仕切っている。体育推薦で入学を決める権限も各部の監督やOBが握っており、ここに教授会が関与することはない。学部長会議で形だけ承認された体育推薦の総枠が、各専門学部に分けられ、教授会はその枠を承認し、その枠内で推薦された学生の入学を承認するだけである。

体育推薦で入学した学生が、各体育会の所属部とどのような約束を交わしているか、

教授会は何も知らない。ほとんどが、体育会を辞める場合には自主退学することを入部（入学）の際の誓約書にしているようだが、そのような書類は教授会に提出されない。すべて体育会の各部で内部的に処理され、公になることはない。

このように、私立大学における体育会はその一つの独立した世界であり、各部の運営は推薦入学利権をもつ権力組織になっている。

体育推薦制度がブラックビジネス化

体育推薦入学制度は新興私立大学が編み出した学生募集のための宣伝営業であり、体育会運動部はいわば私立大学の宣伝営業部の役割を担っている。学生の自主活動でも何でもない。スポーツを通して大学の名が全国に知られ、入学志願者が増え、入学者が確保できれば、大学経営の財政基盤を強めることができる。

ところが、体育推薦制度のお陰で大学知名度が全国区になり、大学経営が安定すると、体育推薦の営業活動で成功した現場の監督や責任者が、大学経営に参画することになる。運動部の監督という実績だけで、教育活動に従事したこともない者が、大学経営の責任者になる。こうして、運動部出身者が大学経営そのものを支配することになれば、大学は教育・研究の場ではなく、スポーツを売り物に、学生を呼び込んで受験料や授業料で稼ぐビジネスに転化してしまう。入学志願者を増やし、入学者を確保するための体育推薦入学制度や体育会運動部という存在が、宣伝手段を超えて、大学の主要ビジネスに転化すると、体育会関係者が大手を振って大学を支配することになる。そして、このレベルに到達すると、政治家やいかかわしい人物が大学幹部と交遊を深め、学外の闇権力との繋がりが生まれる。

こうなると、大学はもうその本来の理念を失い、たんなるブラックビジネスに転化してしまう。もちろん、理事会が体育会出身者によって占められても、それですぐに大学が本来の理念を失うわけではない。大

学の教育や研究を行うのは教員（教授会）であり、理事会の意向とは無関係な一般学生たちがいる。しかし、理事会が強い大学では教授会の力は相対的に弱く、教育・研究以外の事項で発言する力や権限がない。大学によっては、教授会の権限そのものが最小限に抑えられ、教育や研究内容についても理事会が口出しできるところもある。

体育会グループが事務組織を支配

大学の先生はお世辞にも経営能力があるとは言えない。予算や事務人事にかかわることに何の力も発揮できない。だから、私立大学の経営は理事会を頂点とする事務組織が担っている。体育推薦制度が強固な大学では、この事務組織を担っているのが、体育会出身者である。

私立大学にとって、体育会出身者が事務組織を担うことには多くの利点がある。一つは大学への忠誠心（大学ナショナリズム）である。有能でも他大学出身の職員は大学への忠誠心が希薄だから、なるべく多くの生え抜きの職員をとる傾向が顕著である。さらに、体育会出身者は上下関係の命令で動かすことができるから、「無駄な」議論を省くことができる。

他方、この利点は欠点に転化する。事務能力より上下関係による親分子分（きんぶんしぶん）の関係を職員組織に持ち込めば、革新的な大学経営の障害になる。軍隊的な関係が支配するところに、創造的な大学経営を展開する力はない。

もちろん、大学によって、体育会出身者を優遇することなく、能力本位で自大学出身者を採用しているところもある。教授会と理事会の力関係によっても、大学経営のあり方が大きく異なる。

たとえば、法政大学のように教授会組織が強い大学では、学長が理事長を兼務し、さらに教員が主要な常務理事を担当して、事務組織が独立権力を形成するのを防いでいる。しかし、民主的な運営を維持している法政大学でも、体育推薦入学制度は教授会が介入することができない聖域であり続けている。事務組織における体育会出身者が一つの利益集団を形成している以上、それと妥協しながら大学を運営する必要があるからだ。

これが日本大学のように、事務組織に比べて教授会の力が弱く、体育会出身者で占

められる理事会が圧倒的な力をもっている大学の場合には、まったく違った組織になる。創立者が経営を掌握している地方の大学では、教員採用に当たっても、理事会が口出しして、教授会の自治や権限が骨抜きにされている大学もある。

体育推薦の弊害

体育推薦で入学した学生のほとんどは授業に出席せず、合宿所で1日の生活を送っている。これで授業の単位を修得することはできない。だから、体育会からプロスポーツに進んだ選手のかかなりの部分は、卒業単位を取得することなく、4年で退学している。しかし、これも大学によってかなり様相が異なる。

理事会が強いところでは、教授会に暗黙の（あるいは明示的な）圧力がかかり、体育会所属学生に合格点を与え卒業させている。他方、教授会が強いところではそのような介入は奏功せず、単位を修得することなく卒業することになる。体育会系学生（たいいくかいけいせいせい）の答案用紙（たうぶんようし）はほとんどが白紙で、所属の体育会名（たいいくかいな）が書いてある。試験が近づくと、担当教員（たうとうきょういん）に贈答品（ぞうたうひん）が届くこともある。また、顧問の教員（こんむんのきょういん）に泣きつき、顧問が同僚教員（どうりょうきょういん）に懇願（こんがん）することもある。定期試験（ていききしけん）に替え玉（かえだま）を出す事例（じざい）も後（ご）を絶（た）えない。

スポーツが強すぎるのは大学教員（だいがくきょういん）としては困る。優秀な学生（ゆうしゅうなせいせい）がそのような大学（だいがく）を避（よ）けるからだ。法政大学（ほうせいだいがく）に勤務（きんむ）していた時（とき）など、「飯田橋（いひだはし）体育大学（たいいくだいがく）」と揶揄（えう）されることもあった。古株（ふるく）の教員（きょういん）は大方（たうほう）体育会（たいいくかい）の制度（せいど）に好意（こうい）的（てき）だったが、若手（わかしゅ）教員（きょういん）は体育推薦（たいいくていせん）制度（せいど）に批判（ひはん）的（てき）だった。どうしたら体育推薦（たいいくていせん）枠（わく）を減（へ）らすことができるか、その制度（せいど）に風穴（ふうくわ）を開（ひ）けることができるかを議論（ぎろん）していた。そうすれば、優秀（ゆうしゅう）な学生（せいせい）を増（ぞう）やすことができると考えていた。体育推薦（たいいくていせん）入学者（にゅうがくせい）に面接（めんせつ）試験（しけん）を導入（だうにゅう）したり、入学試験（にゅうがくしけん）の点数（てんすう）を提出（ていしゅつ）させたりして、教授会（きょうしゅうかい）が入学審査（にゅうがくしんさ）に関わ（か）れるような改善（かいぜん）提案（ていあん）もした。しかし、何（なん）十年（じゅうねん）と続（つづ）いてきた制度（せいど）を変（か）えるのは至難（しなん）の業（わざ）であった。

立教大学（れきやうだいがく）の経済学部（けいざいがくぶ）では、1980 年（ねん）前後（ごうご）に体育推薦（たいいくていせん）枠（わく）を廃止（はいし）した。もともと、体育会（たいいくかい）の権力（けんりき）が強（か）くないところに、良識（りょうしき）的な教授陣（きょうしゅうじん）が断固（だんこ）とした決意（けつぎ）を示（し）したのだ。学力（がくりき）が不足（ふそく）する附属高校（ふぞくこうこう）からの入学者（にゅうがくせい）についても、教授会（きょうしゅうかい）は厳（げん）しい態度（たいど）を打ち出（うちだ）した。

学校スポーツが盛んな日本、体育会が存在しない欧州

私立大学で体育会が一つの権力を形成している実態を変えることは、ほとんど不可能に近い。これは日本における学校スポーツのあり方と密接に関係している。

欧州では大学を含め、学校で部活動が行われることはほとんどない。自主的なサークル活動が小規模に行われることはあっても、学校組織が関与している部活動は基本的に存在しない。大学を含む学校は勉学の場であり、スポーツをやりたい人や他の趣味に精を出したい人は、それぞれ学校外のクラブでやれば良いと考えられているからである。素人の先生が他人の趣味やスポーツ活動に関与する必要はない。専門のスポーツクラブには専門のコーチがいる。そこで専門的な指導を受ければ良い。

ところが、日本では中学校から部活動が盛んで、否応なしに部活動への参加が義務づけられ、専門でもない先生が私的な時間を削って部活動に献身している。それが高じて部活動が生きがいになる先生もいるようだ。こういう本末転倒な部活動の延長線上に、大学の体育会が存在すると考えれば、不合理な大学体育会が厳然として日本に存在することも理解できる。

だから、私立大学の体育推薦入学制度の改革は簡単でない。

改革の道

体育推薦制度が蔓延したことによって、一部の大学では大学本来の道から外れ、体育推薦制度がブラックビジネスに転化している。社会はこれを厳しく批判しなければならない。私立大学における体育推薦制度や運動部のあり方について、抜本的な改革を進めなければ、日大アメフト事件が提起している問題の解決にはならないだろう。

運動部の運営は、少なくとも以下の諸点で改革が必要である。

一つは、推薦枠の最小限化と推薦の透明化である。レギュラー人数の何倍もの推薦枠は無駄である。

二つは、固定した合宿所の廃止である。軍隊的規律が支配するような合宿生活は部の発展によっても選手個人の能力向上にとっても、良いことは全くない。

三つは、運動部指導者の使命と指導について、明瞭な指針を立てることである。支配-従属型の指導を排除し、また特定の運動部の監督が大学の経営に従事することも禁止すべきだろう。

四つは、教授会が体育推薦枠の漸次的削減と推薦入学への教授会の関与を求めるべきである。教授会の関与がない所に不明瞭な力が加わり、それが体育会の独立権力化を助長する。必要に応じて、推薦入学者にたいして、社会的常識や基本的学力を問う試験なども実施すべきである。体育推薦制度を大学教育から隔離された租界にしてはならない。

関連する記事は
<http://morita-from-hungary.com>
を参照されたい

ハンガリー・ニュースダイジェスト

2018 年 6 月 1 日～22 日

鷲尾 亜子

基本法改正案と「ストップ・ソロス」法案の成立

オルバーン第 4 次政権が発足し、6 月は非常に重要な法律を 2 本、国会で成立させた。1 つは基本法第 7 次改正（憲法に相当）、もう 1 つは、ハンガリー系の米著名投資家ジョージ・ソロス氏の名前を取った「ストップ・ソロス（ソロスを止めろ!）」法案。

いずれも、第 3 次政権（2014-2018 年）では、議会で重要法改正に必要な 3 分の 2 超（圧倒的多数）の勢力を持っていなかったため実現させられなかったこと。4 月の総選挙で圧倒的多数を得たため、早々に法整備に取り組んだ。左派リベラル系野党は、批判はするものの、与党の大きな勢力の前では無力である。

基本法の改正内容は以下の通り：

1. 外国人（移民）の集団移住の禁止
2. 国家機関によるキリスト教文化を守る義務
3. 政治家の私邸前でのデモ禁止
4. 路上生活（ホームレス）の禁止
5. 行政裁判所の設立

移民集団移住の禁止は、ハンガリーに対して EU 等が受け入れ強制することを基本法で明確に拒否するもの。ハンガリー領土内での外国人受け入れは、ハンガリー当局が個別に判断する。（EU 市民など移動の自由の権利がある外国人は除く）

今回の改正案には、野党の極右 Jobbik（ヨッビク）も支持に回った。オルバーン政権は 2016 年秋、移民受け入れの是非に関する国民投票後にも同様の基本法改正を試みたが、その時には Jobbik の支持が得られず実現しなかった。

国家機関によるキリスト教文化を守る義務は、当初の政府が提出した改正案には含まれていなかった。しかし途中で与党議員が突如として盛り込むよう提案。

路上生活（ホームレス）の禁止も与党議員の突如とした提案で盛り込まれることになった。

このように、オルバーン政権では、非常に重要で、本来ならば慎重で精密な準備や関係者との協議が必要な法案を、政府が出さずに、無名議員がいきなり提出し成立することが散見される。審議の時間もほとんどない。それも政権の一つの「作戦」であろう。

キリスト教文化に関しては、国家機関はそれを守る義務があると規定。その理由として、「キリスト教文化なしでは欧州、またハンガリーは存在しえない。（中略）欧州では現在、伝統的文化の変革が起こりうる途中にある」と説明している。

2012 年に発効になった基本法でも、キリスト教に関しては序文で触れられており、「キリスト教が国家を維持保存にはたしている役割をここに認める」とした。当時、このキリスト教だけ名前を挙げ含めることは大きな議論になった。しかしその直後に「国内の様々な宗教的伝統の価値を認める」とすることで、他宗教を否定しているわけではないと政権側は説明してきた。

第 7 次改正は、序文ではなく、その後の総則的規定を定めた章の第 R 条で扱う。キリスト教の役割を「認知する」だけではなく、「それを守ること」を「国家機関」に「義務付けた」という点で、これまでの 2 歩も 3 歩も進んだといえよう。この章は、ハンガリーの正式国名、公用語、首都などを定める国家として根幹的な事柄、原理原則を記している。R 条には、「基本法はハンガリーの司法制度の基礎である」、「基本法はすべての者が従わなければならない」としており、これと同レベルでキリスト教文化の保護が定義されていることから、重みが伺える。オルバーン首相が現在、「移民反対」とセットで声高に掲げている

「欧州でのキリスト教文化を守る」に合致するものである。

政治家の私邸前などでの集会禁止は、「（本人や家族の）私生活を冒す権利はない」とするもの。しかし、集会の権利を脅かすものと懸念されている。

基本法改正案には、**行政裁判所の設立**も盛り込まれた。最上位の裁判所は、クーリア（最高裁）と同じレベルになる。行政事件や政府機関による決定を不服として提訴されたケースを扱う。

設立案は 2016 年に浮上。政府は当時、行政関連の訴訟の迅速な処理には、こうした裁判所の設立が不可欠と主張。しかし、野党や国内の政府に批判的なメディアは、政治的に機微な問題や、多額のカネが関与する横領事件を新裁判所に回し管理しやすくするのが真の意図と分析した。

司法省が 2017 年夏に明らかにした裁判官の選出方法も、懸念を呼ぶ原因になっていた。選出はポイント制で、省庁など行政機関出身の方が、裁判所で裁判官補佐の経験を積んだ者の倍になるというものだった。同省は、行政関連の係争では、行政や関連法の専門知識を要するためと説明。しかし反対派は、政権内の「忠臣」ばかりが登用されことになることと疑念を強めた。政府与党は、行政裁判所では司法の独立性は堅持されると強調している。今後、裁判官の選出方法、実際の人選、具体的な訴訟の行方が注目される。

ストップ・ソロス法案成立

「ストップ・ソロス」法案は、移民大量流入の「ソロス陰謀説」を元にして作り上げられた。（この名称は、政府が自らつけた。）政権の主張は、2015 年秋の移民ショックは、「開かれた社会（オープンソサエティ）」を唱えるジョージ・ソロス氏が欧州でそれを実現させようとしたため、というもの。ソロス氏は欧州の左派リベラル系の政治指導者や NGO（非政府組織）らにカネをばらまき、大量の人々を中東やアフリカから流入させていると主張している。

政府は、これにより、キリスト教文明の地である欧州が壊される、テロリスクが高まる、欧州の安全保障に関わる、だからこの動きを止めなければならないとする。そのために NGO が「合法的な」活動を事実上

できなくするのが狙いである。ストップ・ソロス法が施行されれば、NGO らによる情報提供、法律相談、食糧提供といった活動は刑法上の犯罪になりえ、禁固刑最長 1 年の対象にもなりうる。

政府は一方で、**2019 年税制改正包括法案**で、移民支援活動を行う NGO に対して、25%課税する計画を盛り込んだ。税収の用途は、国境警備に限定すると言う。税は、選挙前は税制改正案ではなく、ストップ・ソロス法案の原案に含まれており、「外国からの支援が国内よりも多い団体」に課すことになっていた。しかし、今回は国内外からの資金援助の額に関係なく、移民支援活動を行う団体が対象になる。

この法案は、NGO はもとより、ザイド・フセイン国連人権高等弁務官（OHCH）なども懸念を表明。さらに、ベニス委員会（欧州評議会下の憲法諮問機関）は、廃止を求めた。

こうしたオルバーン政権の動きに、欧州議会では Fidesz が属す EPP（欧州人民グループ）でも懸念や批判が強まっている。オランダの政党「キリスト教民主同盟（CDA）」は、EPP は超えてはならない「レッドライン」を設けるべきで、Fidesz がこれを越えたままであれば EPP メンバーシップを一時停止すべきとする動議を採択した。

Fidesz は当然のことながら反発。一方で、オルバーン首相は移民政策ではヴィシエグラード 4 か国（ハンガリー、スロバキア、チェコ、ポーランド）では結束が固く、オーストリアやイタリアも考えをともにしていると喧伝している。また、「キリスト教民主主義」を前面に打ち出し、来春の欧州議会選挙ではむしろ EPP で主導権を握ろうと野心を膨らませているようである。

その他のニュース

ピアバイク、セグウェイなど歩行者専用区域で禁止

ブダペスト市 5 区では 6 月半ばから、歩道、歩行者専用道路や区域でのピアバイク、セグウェイなどの通行を禁止となった。その他、人力車、電気自転車なども禁止。

5 区は国会議事堂、イシュトヴァーン大聖堂、ヴァーツィ通りなど観光スポットが多くあり、近年は観光客向けのセグウェイらが大幅に増加。一方で、市民らからは歩行が危険と、多くの苦情が寄せられていた。違反した場合は、最高 5 万フォリントの罰金が科される。

ピアバイクはその他、6 区、7 区、14 区でも禁止になった。

ブダペスト市内の路上駐車料金、値上がり時間延長も

ブダペスト市議会は、7 月半ばからの路上駐車対象範囲の拡大、料金値上げを決定した。

- ・ 5 区の駐車料金は、ほとんどの場所で 525Ft/時間に値上がり
- ・ 2 区、12 区の一部で、現在平日 18 時まで有料の路上駐車区域を 20 時までに延長
- ・ 14 区（ズグロー地域）、11 区（ウィブダ地域）の多くで有料化

水球日本代表、スーパーファイナルで 4 位
ブダペスト市で開催された FINA 水球男子ワールドリーグ・スーパーファイナル 2018 で、日本代表「ポセイドンジャパン」は 4 位となった。

日本は、A グループ予選（総当たり）では 0 勝 3 敗だったが、決勝トーナメントで B グループ首位の米国（3 勝 0 敗）を下す快挙を成し遂げた。その後、準決勝でハンガリーと対戦。途中 3 点差でリードするなど、ハンガリーを大いに苦しめたが最後は破れ、決勝進出は叶わなかった。最終的には 4 位で終了した。

野生の熊が出没

国内で野生の熊が出没し話題になった。熊は 5 月下旬にスロバキアからハンガリー入り。その後 1 日 20-30 キロメートル南下し続け、合計 300 キロメートル前後を移動。セルビア国境近くのセグド近隣で捕獲され、セグド動物園が預かった。

熊は当初 2-3 歳のオスと見られており、いつの間にか「ロビ（ローベルト）」の愛称が付けられることに。しかし動物園で、メスで年齢も推定 10 歳以上と判明した。

熊は捕獲されてから数日後、再びスロバキア国境そばの人里離れた森に放された。しかしその後、近くの村で熊が確認された（同じ熊かは不明）。また、国内ではその他の場所で母熊と子熊なども確認されている。

筆者の関連記事は以下を参照

https://twitter.com/ako_washio

<http://hungarybusinessnews.net/>



ハンガリー暮らしの健康手帖

健康医療関連の情報を提供・交換・共有できる場を作りたいと思い
在住者の総合ブログを立ち上げました。どうぞご覧ください。

<http://health-note-hu.net>



GERE

GERE ATTILA PINCÉSZETE

薬剤に頼らない、自然のサプリメントを！
赤ブドウのポリフェノールを凝縮した
オイルと粉末で健康を維持しましょう！



KÉKSZŐLŐMAG & HÉJ

ポリフェノミクロン(商標登録申請中)

ポリフェノールをふんだんに含む有機栽培赤ブドウの果皮と種を粉砕したマイクロ粉末

ポリフェノール成分: 5gの粉末はおよそ250mgのポリフェノールを含む。

使用法: 粉末をそのまま食することは避け、ヨーグルトなどに混ぜて食する。

1日の摂取量: 1日に小さじ1杯の粉末を2会に分けて摂取。

100 % SZŐLŐMAG OLAJ

ポリフェノールと不飽和脂肪酸を含んだ赤ブドウの極上低温圧搾シードオイル

成分構成: 不飽和脂肪酸 min. 80%, ポリフェノール min. 6%

使用法: サラダなどの冷たい食べ物に直接かけたり、パンへ直接かけて、ほのかな香りを楽しみ、食欲を増進。

1日の摂取量: 小さじ1杯(およそ5g)を毎朝、可能な限り、空腹時に摂取するのが望ましい。

SZŐLŐMAG & HÉJ MIKROŐRLEMÉNY

ポリフェノミクロンはカプセル製品でも販売されています。

GERE通販サイトで購入できます: <https://gere-club-japan.com>

日本に残した心の半分

Percze Ágota

初めて日本に行ったのは、2015 年 9 月であつた。1 年間、東京の江戸川区船堀に住んでいた。その前、大学で日本の文化についての授業があつたけれども、日本に住んでから最初の 2、3 ヶ月は、何も知らないという感じがしていた。例えば、ハンガリーでは、道を歩きながら、何かを食べてもいい。しかし、日本ではあまり行儀がよくないことだということをぜんぜん知らなかった。「皆がじろじろ見ているんだけど...どうしてだろう？」と考えていたら、答えがパツと出てきた。その時、歩きながら、ずっとメロンパンを食べていたのであつた。恥ずかしくなった私は、顔が赤くなってしまった。しかし、それから、道で歩きながら何かを食べたことはなかった。このような記憶はいくつかある。それは悪い記憶かと聞かれたら、ぜんぜん悪くないと答えられる。

風邪を引くとティッシュで鼻をかむことは、ハンガリーでは当然である。私はあのころ、エアコンに慣れないせいで、よく風邪を引いてしまった。ある時、鼻をかもうとしたら、日本人女性の友達はこれを見て、びっくりした顔をしていた。私が「どうしたの？」と聞くと、彼女は私をお手洗いに連れていき、「ここならいいよ」と言った。その時、私もびっくりした顔をした。多分、彼女はその理由を分からなかっただろう。私は「文化についてまた一つ勉強してよか

った」と思い、人前で鼻をかむことをやめた。



ハンガリーで大学に通っている間に、日本の年中行事や、歴史や、食文化など、いろいろなことについて勉強したが、それでも日本に来てみると、数多くの習慣が私にとって新しかった。時間が経つにつれて、日本に住むことに慣れた。なぜかと言うと、何か分からなかったら、質問をし、周りにいる日本人から学ぼうとするようになったからだ。私はこの新たな生活を好きになった。好きになったというより、大好きになった。最初の日から好きだったが、ふるまい方をよく知らなかったのであつた。子供のころから自分の母国の習慣は勉強してきたが、日本に行ったら、もう一度知らない世界について勉強しなければならなかった。言うならば、もう一度子供になったということだ。先生たち、日本人の友達、皆から様々なことを教えていただいた。

住んでいたアパートの近くのスーパーで働いていたレジの人にもたくさん手伝っていただいた。そのスーパーには一週間に 3、4 回も行ったものであった。普通はお客さんは店員に挨拶せずに入るが、私はいつも従業員に「こんにちは」と挨拶した。初めはもちろん、皆びっくりした。しかし、数ヶ月後は、そこに勤めている日本人は私の挨拶に慣れ、逆に、「こんにちは」と言わずに入ったら、非常にびっくりするようになった。私にとっては、日本人が外国人の自分の習慣を尊重してくれている感じであった。もしかすると、おかしいと思っていたかもしれないが、私の奇妙な習慣を受け入れてくれた。日本人のやさしさに私は強くこころをうごかされた。よくハンガリーの文化についても聞かれた。私も情報をあげ

られた。こうしてまわりの人たちとお互いに教え合い、私たちの世界は少しずつ変化していった。

私はその新しい世界で、その留学の 1 年間の終わりにもう一度大人になった。というよりも、思春期の若者になったと言ったほうがいだろう。まったく日本人のように振る舞うことはまだできないからだ。しかし、教えていただいたことに心の底から大変感謝している。友達もたくさんでき、私にとって日本はだんだん第二の故郷になってきた。帰国した時、私は心の半分を東京に残していた。また日本に行くなら、外国に行くのではなく、帰るという気持ちがする。

(ペルツェ・アゴタ)

日本の食文化の多様な側面

Nyikom Alexandra

日本学科で勉強している学生たちに、日本のどんなところに興味をそそられたのかと聞くと、その答えに共通点が多いのは当然ですが、あるテーマの魅力をどう伝えるのか、そしてそのテーマをどういう視点から検討するのかは様々です。そして、その多様性は発表やディスカッションにもっと生彩をそえて、大学での学習の面白さに大きく貢献すると考えられます。私にとって、日本について特に興味をそそられたのは10代の頃に心底ほれ込んだ食文化です。



日本の食文化と聞いて、思い浮かべるのは何でしょうか。私の頭には次のようなイメージが浮かんできます。テーブルの周りに手を合わせて座っていて、お弁当を食べ始める前に食事の提供や調理などにかかわった人への挨拶として「いただきます」と言う子供たち。深くなる夕闇に市内の曲がりくねった街路を照らす飲食店の提灯。山

間部の温泉旅館にてもてなされる懐石料理。それぞれの食材に、それぞれの特別な意味のある御節料理。深山幽谷の豊かな自然に包まれた場所で作られた山菜料理。ハンガリー人の私には、なめろうやしらす丼のような海の幸が豊富な料理は特に面白く見えます。

ただ、それ以上に、創造的なお弁当でも、伝統的なごちそうでも、地域色豊かな料理でも、旬の素材を巧みに使うこと、そして、大福餅やうどんなどに見られるように、一つの食べ物にも様々な種類があることこそが、日本料理の強い魅力だと私は考えます。それらの特色に惹かれ、日本の食文化に関してもっと勉強しようと思いました。例えば、次のようなことを知りました。茶の湯の際に空腹を満たす食事を意味する「懐石料理」の「懐石」は、元々「会席」として使われていましたが、茶道と禅宗の深い関連によって漢字が変わりました。「懐石」の由来は修行僧が修行の厳しさをしのぐために懐に温石を入れたという行為です。さらに、「精進料理」の「精進」とは啓蒙の道に沿って世俗的な思考や愛着のない心の状態を追求することに対する熱意を意味します。したがって、自然との調和の精神を育てるために、精進料理の各食事では五つの種類の色と味のバランスが重視されます。そして、料理を作るときに無駄になるものではなく、食材はすべて、何らかの形で食卓に現れます。

日本料理に関するドラマや映画も勉強になりました。今までに見た作品の中で特に好きなのは「孤独のグルメ」です。個人で輸入雑貨商を営んでいる主人公が、仕事の合間に様々な飲食店に立ち寄ります。エピソードの多くは雑多な雰囲気のある迷路のように入り組んだ東京の下町が舞台となっていて、相撲の街として知られている墨田区両国のちゃんこ鍋や、中央区月島のもんじゃ焼きなどのような名物料理がたくさん

現れます。私がとりわけ面白いと思ったのは郷土料理です。例えば、きりたんぽを地鶏やキノコやねぎなどとともに鶏がらのだしで煮込むきりたんぽ鍋は、秋田県の名物料理です。きりたんぽとは、つぶしたご飯を木の棒に巻きつけて焼きあげたもので、元々冬に狩猟を行うマタギ（東北の猟師）の保存食ですが、今でも秋田県の学校で冬の給食として人気があるものだそうです。

また、群馬県で作ったすき焼きは、上州和牛やこんにゃくから下仁田ネギやしゅんぎくまで、すべての食材は県内産でそろえられるそうです。私が自分でも作ってみた名物料理は、福岡市の「博多ラーメン」としても知られている濃厚な豚骨ラーメンです。硬くない麺を使い、トッピングとして

ネギとチャーシューとゆで卵をのせました。もし私が中州で屋台を持っていたなら、自分で作った豚骨ラーメンはおそらく商売繁盛につながるものではありませんが、調理はなかなか楽しかったです。

私にとって、食文化について勉強するのは日本に関する勉強の中で最も面白く、楽しい部分の一つです。卒業論文も、ユネスコ無形文化遺産に指定された和食をテーマに選びました。今後も日本の食文化に関して知識を深めたり、直接体験したりして、将来は日本料理の魅力を広めることに貢献したいと思います。

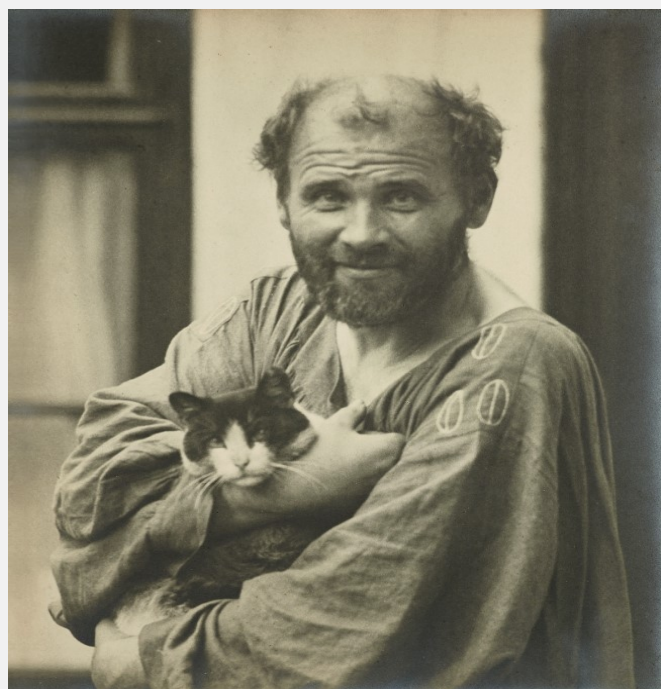
(ニコム・アレクサンドラ)

福田和代のウィーン便り

クリムト絵画「リンゴの木Ⅱ」

今年はウィーン世紀末の画家グスタフ・クリムト(1862-1918)の没後百年にあたり、いくつか記念展が開催されている。レオポルト美術館も6月22日から11月4日まで「グスタフ・クリムトー世紀の芸術家」展が開催中である。開催前日の記者会見にもオープニングにも展覧会カタログが間に合わなかった。カタログの作り直しと推測される。レオポルト美術館所蔵エゴンシーレ自画像の貸し出しと引き換えにフランスのルイ・ヴィトン財団から貸し出されて展示するはずだった「リンゴの木Ⅱ」に問題があるとして展示中止になったため、カタログから外すことが決定されたからである。

クリムト専門家で当時のベルヴェデーレ美術館副館長が、元の持ち主は《ノラ・スティアスニー》ではなく《セレナ&アウグスト・レーデラー》ではないかと発言している。当時の文化大臣(社民党)はこの返還先問題を直ちに調査し直すよう関係機関に通達した。調査は長くかかり、返還諮問委員会は2017年7月に声明を出した。当時の文化大臣(社民党)によると、この絵が間違っただけで返還されたことは事実であり、それどころかナチ政権時代に《レーデラー》家からこの絵が強奪されたという証明はない。つまりナチの強奪作品ではなかったのである。



Klimt-Foundation, Wien



Fondation Louis Vuitton, Paris / Foto: PRIMAE

クリムトの未完の絵画「リンゴの木Ⅱ」(1916年)はベルヴェデーレ美術館が所蔵していたが、ナチスによる略奪品として2001年11月、元の持ち主とされた《ノラ・スティアスニー》の遺産相続人に返還された(当時の文化大臣は国民党)。しかしこの返還先は間違っているのではないかと、いうことはかなり早くから指摘されていた。2015年7月には、

2017年のこの時点で「リンゴの木Ⅱ」がどこにあるのか不明だった。間違っただけで返還された元の持ち主《ノラ・スティアスニー》の遺産相続人たち(スウェーデン在住といわれている)は専門家の見積もりで3千万ユーロ(約39億円)ともいわれるこの絵を国際美術商に売却したに違いない。2018年6月、この問題を一貫して追求してきたオーストリアの新

聞クリアーは、「リンゴの木Ⅱ」は《ノラ・スティアスニー》の遺産相続人たちがダニエラ・リュクスンブール(ニューヨークとロンドンに事務所、ホームページは英語と中国語)を仲介として、フランスの実業家(ディオールやルイ・ヴィトンのCEO)で大富豪のベルナール・アルノーが買い取った、と報じた。

クリムトの「リンゴの木Ⅱ」は 2001 年に誤返還されて以来、行方が分からなかったが、今回のレオポルト美術館のクリムト記念展を契機に、フランスのルイ・ヴィトン財団が所有していることが分かった。レオポルト美術館のクリムト記念展のオープン前日に「リンゴの木Ⅱ」は記念展会場から取り外され、再びパリに帰った。記念展で公開されなくなった一番の問題は、ウィーンでの差し押さえを恐れたからに違いない。

筆者は記者会見後の見学で記念展会場に飾られた「リンゴの木Ⅱ」を見た。印刷されたプレス資料にも載っている。レオポルト美術館が「リンゴの木Ⅱ」を展示しない声明を出したのは開催スタートの日だった。ぎりぎり一般公開されなかったことになる。この絵の問題についてはオーストリア大手の新聞クリアーやスタンダードが数年前から指摘しており、それをレオポルト美術館やルイ・ヴィトン財団が知らないはずはない。何故という疑問が湧く。。



Klimt-Foundation, Wien

本題とはずれるが「リンゴの木Ⅰ」など、以前ベルヴェデーレに展示され今はない返還絵画は今どこにあるのだろう。

一例をあげると、映画「ウーマン・イン・ゴールド」にもなったマリア・アルトマンに、ベルヴェデーレから「リンゴの木Ⅰ」「アデーレ・ブロッホ=バウアーⅠ」「アデーレ・ブロッホ=バウアーⅡ」「ブナの森／白樺の森」「アッターゼー湖畔ウンターアッハの家並み」のクリムト絵画 5 点が 2006 年に返還され、アルトマンの住むロサンゼルスに運ばれた。

「アデーレ・ブロッホ=バウアーⅠ」はロサンゼルスで公開されていたが、その後ロナルド・ローダー(エスティ・ローダーの息子、元在オーストリア米国大使)に当時の史上最高値 1 億 3500 万ドル(156 億円)で売却。ローダーの私立美術館「ノイエ・ギャラリー・ニューヨーク」の看板絵画になっている。他の4点は合計 1 億 9270 万ドルで 2006 年にニューヨークでオークションに出され、そのうち「アデーレ・ブロッホ=バウアーⅡ」は米国のテレビ司会者で富豪だが慈善活動も盛んなオプラ・ウィンフリー が 8790 万ドルで落札し、2017 年に 1 億 5 千万ドルで中国人に売却した。

サッカーW杯で考えたこと

盛田 常夫

予選リーグ 3 戦全敗を予想した評論家が多くいるなかで、決勝トーナメントに進んで日本チームの健闘を称えたい。十分にW杯の醍醐味を味わわせてもらった。

予選リーグ最終対ポーランド戦の最後の 10 分間の球回しに多くの批判が寄せられたが、この批判は当たらない。予選リーグは決勝トーナメントに進むための予備選であり、そこを突破しない限り、いくら健闘しても意味がないことは自明のことである。4 チームによる予選リーグの最終戦では、そこに至る前 2 試合の結果によって、いろいろな可能性が存在する。日本チームは 1 勝 1 分の首位に立っていたからこそ、リーグ戦突破に有利な選択肢を確保できた。負けても 1 点だけの失点であれば、突破の可能性が非常に高かったのは、最初の 2 試合を負けなしで来られたからだ。それが最終戦でリスク回避の余裕を与えたのである。

このような駆け引きは W 杯のみならず、五輪の予選リーグ戦でも度々見られたことであり、今回の日本チームの球回しをとくに批判するのは筋違いである。ところが、欧州ではイギリスの専門チャンネルが、日本チームのリスク回避を批判するばかりか、決勝トーナメントでベルギーにコテンパンにやられれば良いと論評していた。3-0 か、4-0 で日本は惨敗するだろうというのが、イギリスの専門チャンネルの予想だった。

私はこの批判に、根強いアジア人蔑視を感じた。サッカー発祥地であるイギリス人はプライドがあるのだろう。高々、ここ 20 年の W 杯出場経験しかない日本が、しかも世界のトップクラブに属している選手がいないチームが、コロンビア戦の幸運な勝利を得たからといって、世界の強国のように、リーグ戦突破の球回しをしたことが氣にくわないのだ。イギリスやフランス、あるいはスペインやイタリアがやるのは構わないが、サッカー新興国の日本がやるのは「小賢しい」ということなのだ。

対ポーランド戦の批判が強い中、史上最強と言われるベルギー相手に日本チームがどう闘えるのか。負けても好いから惨敗だけはしてもらいたくないというのが、正直な心情だった。惨敗すれば、「ほれ見たことか。やっぱりフロックで勝ち上がったのだろう」と批判されただろう。最初に W 杯に出場した 1998 年フランス大会で、ハンガリーの友人は「パス回しは良いが、点を取らない限り勝てないのだよ」と日本チームを批判したことがある。ハンガリーは 1950 年代の黄金時代、東京・メキシコ五輪優勝の後、見る影もなく代表チームは低迷しているが、サッカーは欧州のスポーツだという気持ちが強い。FIFA が 2009 年に創設したプシュカシュ賞は、ハンガリー動乱の後、外国遠征からハンガリーに戻らず、レアルマドリッドに加入し、歴史を作ったハンガリーの FW を記念したものだ。ハンガリーの黄金時代を中心選手だった。だから、長らく、ハンガリーに遠征する日本代表チームは代

表チームと試合をしてもらえず、クラブチームしか相手にしてもらえなかった。

これまでの W 杯と違って、現在の日本チームの選手のほとんどが欧州リーグでスタメンか、準スタメンのポジションを確保している。確かに、香川選手を除いて、レアルマドリードやバルサ、あるいはセリエ A、プレミアリーグやブンデスリーグのトップチームに属している選手はいないが、いかにベルギーが史上最強と言われようと、真剣勝負で守備を統率して闘えば、惨敗はしないだろうとは思っていた。しかし、その確信がなかった。その意味でも、対ベルギー戦は、現在の日本サッカーレベルを世界標準で測ることができる試合だと考えていた。

手に汗を握る試合だった。勝ち上がる夢を与えてくれたが、現実は甘くなかった。しかし、惨敗することなく、しかも最強チームの一つを最後まで追い詰めることができ、ほっとした。欧米のアジア人蔑視や偏見は未だに根強い。それが顕著に現れるのが、スポーツ競技である。それを打破するためには、対等に闘えることを示す以外にない。欧米では、一般的な偏見があっても、人種に関係なく実力へのリスペクトが存在する。どのような分野であれ、実力を見せて批判を封じ込めることでしか、アジア人がその存在を示すことができない。日本が世界標準のサッカーを展開できることを示したことが、今大会の最大の収穫である。

選手が揃っているのに、負けが込んでいるチームを引き上げた西野監督の手腕は見事である。やはり、言葉の壁やコミュニケーションの不足が、団体競技の難しさを語っている。監督が選手の意見に聞く耳をもたず、通訳を介してしか意見を伝えることができないのでは、チーム力が強くない。ただ、今回の選手選考で多くのファンが失望したのは、ベルギーリーグで活躍している久保裕也、オランダのフローニンゲンで大化けして今年だけで 9 得点を重ねた堂安律、ポルトガルリーグで活躍する中島翔哉などの若手で、得点力のある選手を選ばなかったことだ。明らかに、少なくとも、乾のバックアップには中島、原口のバックアップには久保が選ばれるべきだった。故障の岡崎よりも、堂安の方がベターな選択肢だった。そうすれば、選手交代の選択肢が広がっていたはずだ。西野監督がどれほど欧州リーグの試合に関心を寄せているのか、そこが外人監督との違いかもしれない。

W 杯南ア大会は岡田監督の采配が光った大会だったが、一つだけ失敗を上げれば、香川真司の評価を誤り、サポートメンバーでしか選ばなかったことだ。もし香川が代表に選ばれていれば、延長戦にまでもつれたパラグアイ戦で、スーパーサブとして使えただろうと思う。J2 の得点王を過少評価したと言わざるを得ない。W 杯後、ドルトムントで香川選手が大活躍したことを見れば、岡田監督は選手を見る目がなかったと言われても仕方がない。

交代枠の選手層の薄さは今回の大会でも明白になった。若い選手を積極的に選考し、大化けさせてチーム力を上げることが、日本サッカーの課題である。この点で、日本の監督は欧州の監督に比べて、選手を見る目がいいのではないかと思う。もっと、欧州リーグの日本人選手の動向に、関心をもつべきだろう。

イベント情報

- 第 27 回ヴァイダフニャディ城夏の音楽祭 7 月 2 日—8 月 2 日

<http://www.vajdahunyd.hu/english.asp>

- 第 15 回 Veszprém 音楽祭 7 月 11-15 日、Veszprém 市

会場：8200 ヴェスプレーム市、Remete köz 8.

<https://veszpremfest.hu/en>

- Bull's Blood フェスティバル 7 月 12-15 日 Eger 市

会場：Eger, Érsekkert, 3300

<http://bikaverunnep.hu/en>

- イブニングコンサート イン ブダペスト動物園 7 月 4 日—8 月 22 日

会場：ブダペスト動物園 1146 Budapest, Állatkerti krt. 6-12.

<http://zoobudapest.com/en/must-see/concerts>

- ブダペスト・ワインツアー 7 月 5 日

<http://borbartura.hu/mi-ez/>

- F1 Hungarian Grand Prix Budapest 7 月 27-29 日

会場：フンガロリング、2146 Mogyoród, Hungaroring út 10.

<https://hungaroring.hu/en/events/formula-1>

- Sziget Festival 8 月 8-15 日

会場：1033 ブダペスト市 Május 9. park

<https://szigetfestival.com/en/>

- 第 32 回民芸フェスティバル（職人の日）8 月 17-20 日

会場：ブダ城

<http://www.mestersegekkunnepe.hu/>

- 建国記念日（聖イシュトヴァーンの祝日）8 月 20 日

花火大会 会場：ドナウ川 18:30 - 22:30

国会議事堂や国立博物館を始めとする様々な国立施設が無料開放され、国内で様々なイベントが開催されます。

- ハンガリーグルメ・ストリート

会場：Várkert Bazaar と Szilágyi Dezső Square.

- Junibor' ワインフェスティバル 8 月 28-31 日

会場：聖イシュトヴァーン大聖堂前広場

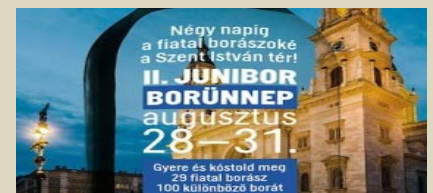
5 District, Szent István tér, Budapest

<http://juniborunnep.hu/>

- ショートフィルム・フェスティバル 8 月 30 日—9 月 4 日

会場：各指定映画館

<https://busho.hu/hu>



コンサート情報

Zenélő Budapest ～8月12日まで

ブダペスト市内10か所にて開催している無料コンサート

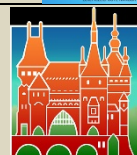
毎週日曜日11時から会場：VÁRKERT BAZÁR ÖNTŐHÁZ UDVAR

その他の会場でのプログラムは <http://budapestmusic.info/>



第27回ヴァイダフニャディ城夏の音楽祭 7月2日ー8月2日

<http://www.vajdahunyd.hu/english.asp>



ブダペスト夏の音楽祭 2018 <http://eng.szabadter.hu/>

会場：マルギット島野外ステージ その他



OperaFüred オペラプロジェクト

会場：Balatonfüred – Gyógy 広場

7月19日(木) 20時 合唱ガラコンサート ハンガリー国立オペラ合唱団 指揮：チキ・ガーボル

20日(金) 20時 オーケストラガラコンサート ハンガリー国立オペラ合唱団 指揮：チキ・ガーボル

21日(土) 20時 アンナバル

22日(日) 20時 オペラフェイルム

マルギット島野外ステージ公演

8月3日(金)5日(日) ヴェルディ：歌劇「リゴレット」

【ミュージカル】

☆ブダペスト・オペレッタ劇場 Budapest, 6th district, Nagymező utca 17.

7月6日(金) 7日(土)18:00 ヴァイダ・ゲルゲイ：歌劇『大きな赤ちゃん』

☆エルケル劇場 1081 Budapest, Köztársaság tér 30

Sir Elton John / Lee Hall：『BILLY ELLIOT - THE MUSICAL』

7月3日(火)～14日(土) ※9日休演日 一日2公演 11:00/18:00

【邦人音楽家・団体来ハン公演】

■Tokyo-Budapest Connection プロサクソフーン四重奏 国際交流コンサート

アンサンブル颯（日本）& タヨシュ四重奏団（ハンガリー）

7月8日(日) 17:00 博物館ツアー(日本語対応) 18:00 コンサート

会場：音楽歴史博物館バルトークホール 住所：1014 Bp, Táncsics Mihály utca 7.

※入場無料事前申し込み必要 申込み先：registration.concert@upcmail.hu(日本語可)

詳細は <https://facebook.com/events/174886616688039/>



■コレギウム・ムジクム静岡 オーケストラコンサート in ハンガリー

ソリスト：長尾 春花 現ハンガリー国立歌劇場管弦楽団コンサートマスター

指揮：高橋 俊之

ブダペスト市公演 ドナウ宮殿劇場ホール 住所：1051 Budapest V., Zrínyi u. 5.

8月12日(日) 15:00 詳細は <https://facebook.com/events/441394312996452/>

グドゥルー市公演 グドゥルー宮殿 Lovarda ホール 住所：Gödöllő, Grassalkovich-kastély 5852, 2100

8月13日(月) 19:00 詳細は <https://facebook.com/events/1592856974170951/>

※両公演チャリティーコンサート。ブダペスト市公演：チケット購入形式 グドゥルー市公演：募金箱設置形式
ブダペスト公演はこちらからもチケット購入申し込み可能。



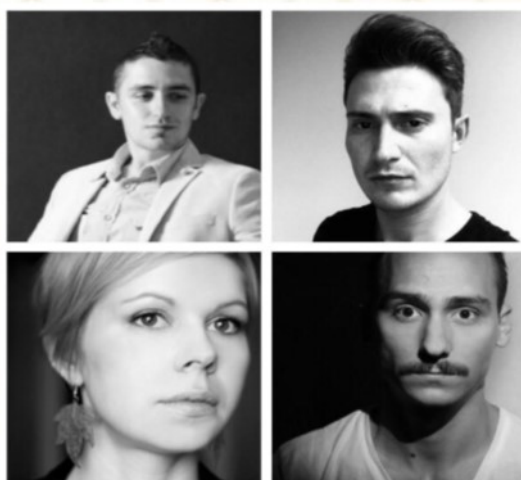
Tokyo-Budapest Connection

プロフェッショナルサクソフォーン四重奏
国際交流コンサート

2018年 7月8日(日) 18:00開演

音楽歴史博物館バルトークホール

Zenetudományi Intézet Bartók terem (1014 Bp, Táncsics Mihály utca 7.)



カルテット 颯 / Quartet Hayate

滝上 典彦 (ソプラノ) 竹内 沙耶香 (アルト) 大貫 比佐志 (テナー) 佐藤広理 (バリトン)

タヨシュ四重奏団 / Tayos Quartet

サレール・イシュトヴァーン (ソプラノ) ガシュパール・ベネデク (アルト)
セレイオ・エルジェベート (テナー) ナジ・ヴィクトル (バリトン)

【曲目】

„日本・ハンガリー作曲家作品プログラム”



17時より音楽歴史博物館ツアー(約40分。日本語通訳付) 是非ご参加下さい。

事前にお申し込みされた方は博物館ツアー及びコンサート入場無料。
氏名・人数・メール・TEL情報をお送りください。

申込み先: registration.concert@upcmail.hu, tel.0670-3815548(日本語可)



JAPAN FOUNDATION

主催: Propart Hungary Bt.

協力・協賛: 国際交流基金ブダペスト日本文化センター
日本サクソフォーン協会, Fon-trade楽器店



コレギウム・ムジクム静岡 in ブダペスト

Collegium Musicum Shizuoka, Japan

2018年8月12日(日)15時開演

ドナウ宮殿劇場ホール / Duna Palota-Színházterem
1051 Budapest V., Zrínyi u. 5.



長尾 春花

ハンガリー国立歌劇場管弦楽団
コンサートマスター

プログラム

コダーイ：夏のタベ

バルトーク：

ビオラ協奏曲 ソリスト：長尾 春花

メンデルスゾーン：

交響曲第4番Op.90『イタリア』



高橋 俊之
指揮

この公演はチャリティーコンサートとなっており、皆様に御購入して頂いたチケット料金の全収益金は、
国連児童基金ユニセフ・ハンガリーの協力を通してハンガリーの子供たちへの支援金として全額寄付
させて頂く次第です。是非、御来場・御参加下さい。



チケット料金(全自由席)：一般 2000Ft、退職者・学生 1000Ft ※未就学者は無料

チケット購入方法：氏名・人数・連絡先をご記入の上

registration.concert@upcmail.hu (日本語可) まで御連絡ください。

必要情報と共に受付完了の御返信をさせていただきます。

主催：コレギウム・ムジクム静岡、Propart Hungary Bt.
後援・協力：在ハンガリー日本国大使館、ユニセフ・ハンガリー、ドナウ宮殿
お問い合わせ：Propart Hungary Bt. Tel: +36-70/3815548 (日本語可)
email: proparthungary@upcmail.hu (日本語可)



コレギウム・ムジクム静岡

Collegium Musicum Shizuoka

2018年8月13日(月) 19時開演

グデュルー宮殿 Lovardaホール

Gödöllői Királyi Kastély-Lovarda

Gödöllő, Grassalkovich-kastély 5852, 2100



長尾 春花

ハンガリー国立歌劇場管弦楽団
コンサートマスター

プログラム

コダーイ：夏の夕べ

バルトーク：

ビオラ協奏曲 ソリスト：長尾 春花

メンデルスゾーン：

交響曲第4番Op.90『イタリア』



高橋 俊之
指揮

この公演はチャリティーコンサートとなっており、当日会場入り口付近にて募金箱を設置させて頂き、御来場の皆様からの募金支援をお願いさせていただきます。
募金収益金は国連児童基金ユニセフ・ハンガリーの協力を経てハンガリーの子供たちへの支援金として全額寄付をさせていただきます。
入場無料となっておりますが、事前に下記のどちらかへ御来場登録が必要です。



グデュルー宮殿 / Gödöllői Királyi Kastély (英語・ハンガリー語)

regisztracio@kiralyikastely.hu Tel.: +36-28/410-124

プロパート・ハンガリー / Propart Hungary Bt.(日本語可)

registration.concert@upcmail.hu Tel.: +36-70/3815548



主催：コレギウム・ムジクム静岡、Propart Hungary Bt.

後援・協力：在ハンガリー日本国大使館、ユニセフ・ハンガリー、グデュルー宮殿

お問い合わせ：Propart Hungary Bt. Tel.: +36-70/3815548 email: proparthungary@upcmail.hu (日本語可)



Heat Therapy in Oncology—Oncothermia
New Paradigm in Hyperthermia
Andras Szasz and Tsuneo Morita

腫瘍温熱療法—オンコサーミア

ハイパーサーミアのパラダイム転換——医術から医学へ

サース・アンドラーシュ／盛田常夫〔著〕



日本評論社

温熱治療のパラダイムを転換する

温熱治療を根本から見直し、
あるべき手法を示した著書。

曖昧な日常知を科学によって解明した画期的な著作。

オンコサーミア治療器は世界25カ国で利用。
ドイツでは百か所以上のクリニックで、
韓国の主要な大学病院に設置。

好評発売中。定価3200円+税。
大手書店、Amazonにて購入可。

第4章 腫瘍温熱療法

- 4.1 腫瘍温熱治療の基本概念
- 4.2 ハイパーサーミアの手法
- 4.3 熱の作用と併用効果
 - (1) 熱と血流
 - (2) ハイパーサーミアの併用効果
- 4.4 ハイパーサーミアの熱生成
 - (1) アンテナ放射
 - (2) 磁場(コイル)
 - (3) 容量性カップリング
 - (4) 伝導加熱
- 4.5 ハイパーサーミア治療が抱える問題

第5章 オンコサーミアの理論と方法

- 5.1 電場の利用
- 5.2 細胞燃焼
- 5.3 腫瘍治療における細胞加熱
- 5.4 ミクロスコピック加熱
- 5.5 集束化の原理
- 5.6 温度の役割
- 5.7 安全性
- 5.8 積算量(ドーズ)
- 5.9 臨床事例

第6章 自然療法としてのオンコサーミア

- 6.1 ホメオスタシスの復位
- 6.2 細胞の自然死の促進
- 6.3 細胞転移の阻止
- 6.4 転移がん細胞に作用

第1章 ハイパーサーミアの歴史と評価

- 1.1 ハイパーサーミアとは何か
- 1.2 ハイパーサーミアの曖昧さと課題
- 1.3 ハイパーサーミアの歴史的概観
- 1.4 腫瘍治療のハイパーサーミア

第2章 ハイパーサーミアの物理学

- 2.1 電磁気学の基礎概念
 - (1) 電磁気現象
 - (2) 電場と磁場
 - (3) キャパシタ
 - (4) 位相シフト
 - (5) インピーダンス
 - (6) 電磁波
- 2.2 バイオ電磁気学
 - (1) 電磁波スペクトル
 - (2) バイオインピーダンス
- 2.3 「非熱」効果
 - (1) 非温度依存(NTD)効果
 - (2) 電磁場におけるNTD効果
 - (3) 電磁気による目標選択
 - (4) 電磁気と生体システム

第3章 ハイパーサーミアの生理学

- 3.1 生体におけるエネルギー、熱、温度
- 3.2 生体における温度制御
- 3.3 生体の加熱と体温
- 3.4 加熱による温度の分布
- 3.5 全身加熱と局所加熱の本質的な差異
- 3.6 加熱と冷却:リスクとその回避
- 3.7 温度測定と熱積算量(ドーズ)



コルナイが綴る 20 世紀中欧の歴史証言

池田信夫「21世紀最初の10年ベスト経済書」第2位にランク
「週刊ダイヤモンド」2006年ベスト経済書第9位にランクイン

コルナイ・ヤーノシュ自伝

—思索する力を得てコルナイ・ヤーノシュ【著】 盛田常夫【訳】

◆好評発売中！ ◆定価 4935 円（税込） ◆A 5 判／ ISBN 4-535-55473-0 日本評論社



体制転換 の経済学

黄色の教科書シリーズで知られる専門学
部の定番テキスト。体制転換の理論と転
換直後の現状を分析。各大学で教科書と
して使用。

盛田常夫著

第一部 社会主義経済の失敗

社会主義崩壊をもたらした社会的退化への論理を構築。交換経済と再分配経済の
比較分析に新たな視点を提供。

第二部 ポスト社会主義経済

体制転換の過渡期の問題をすべて取り上げ、解決の道筋を示す。地域による体
制転換の違いを解明。

■ 新世社 新経済学ライブラリー20 定価2781円(税込)



なぜハンガリーは独創的な科学者を輩出したのか

20 世紀を創ったハンガリー人 マルクス・ジョルジュ【著】 盛田常夫【編訳】

■ 定価 3045 円（税込） A 5 判

■ ISBN 4-535-78331-4

異星人伝説

「週刊文春」(米原万里)、「週刊ダイヤモンド」(北村伸行一橋大学教授)で書評。

ハンガリーは 20 世紀の科学の発展に貢献した多くの頭脳を
輩出した。大きな足跡を残した科学者たちの評伝。

体制転換20年の歴史的・理論的総括の書

ポスト社会主義の政治経済学

体制転換20年のハンガリー：旧体制の変化と継続

新しい概念を駆使して、体制転換以後の中欧社会の状況を分析。

日本経済新聞(2010年3月21日)ほか、多数の書評。

旧来の定説を覆し、新たな知見を広める革新の書。

盛田 常夫著

日本評論社

定価3800円

